

【報告】

## 第18回 日本禁煙科学会 学術総会 in 和歌山

【開催概要】

◆テーマ

多職種、多機関連携による禁煙社会の実現

◆開催日

開催日：2023年9月30日（土）～ 10月1日（日）

◆開催方法

ハイブリッド開催

◆会長

中川 利彦

たばこ問題を考える会・和歌山 事務局長 / 弁護士

◆主催

日本禁煙科学会

◆後援

和歌山県、和歌山市、和歌山県教育委員会、

和歌山市教育委員会、和歌山県医師会、

一般社団法人和歌山県薬剤師会、一般社団法人和歌山県歯科医師会、公益社団法人和歌山県看護協会

◆事務局

第18回日本禁煙科学会学術総会委員会

大阪商業大学 東山明子研究室

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

【URL】

◆第18回 日本禁煙科学会 学術総会のページ

[https://www.jascs.jp/scientific\\_conference/conf\\_index.php#area\\_18](https://www.jascs.jp/scientific_conference/conf_index.php#area_18)

◆第18回 日本禁煙科学会 学術総会 プログラム・抄録集

「禁煙科学」Vol. 17(13), 2023. 09

※「禁煙科学2023」のページからダウンロードして下さい。

[https://www.jascs.jp/kinen\\_kagaku/kinen\\_kagaku\\_2023.html](https://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2023.html)



**【学術総会会長挨拶】**

第18回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山

会長 中川 利彦

(たばこ問題を考える会・和歌山 事務局長 / 弁護士)

第18回日本禁煙科学会学術総会を、2023年9月30日（土）、10月1日（日）の2日間にわたって、和歌山県民文化会館で開催させて頂くことになりました。

第16回総会と第17回総会は残念ながら完全WEB形式での開催でしたが、本総会は、静岡県立大学で実施された第15回大会にならって、ハイブリッド形式で実施する予定です。

さて、本学術総会のテーマは「多職種・多機関連携による禁煙社会の実現」とさせていただきます。

和歌山県は、2002年4月、日本ではじめて都道府県として公立学校全部の敷地内禁煙を実現したことで有名ですが、この画期的な施策が和歌山県で実現し定着したのは、医療関係者、県教育委員会・教職員など教育関係者、県（行政機関）、そして市民団体など多くの関係機関と関係者の連携によるものです。日本禁煙科学会によって2021年創設された畑中孝之賞（禁煙教育推進賞）にお名前が冠されている畑中さんは、たばこによる喉頭がんで声帯を切除した経験から、たばこ問題を考える会・和歌山の代表世話人として、その半生を禁煙教育に捧げられました。

このように和歌山で、そして全国で実践されてきた多職種・多機関連携による禁煙推進活動について振り返りつつ、全国の皆様方の今後の活動につながる学術総会になればと願っています。

和歌山は、海の幸・山の幸が豊富で、和歌山ラーメンも有名です。白浜ではパンダが皆様を歓待してくれるでしょう。

気候も良いこの機会に、是非ご家族連れで和歌山までお越しください。

---

**第18回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山 御礼：**

第18回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山は、2023年9月30日（土）、10月1日（日）の2日間にわたり、秋の気配が漂う和歌山市で開催され、盛会のうちに終わることができました。

今年は2年ぶりのハイブリッド開催でした。和歌山セッションなど、多職種・多機関連携で禁煙運動をリードしてきた和歌山らしさを出すことができたのではないかと、思います。ご参加くださった多くの皆様方、そして演者及び座長の皆様方に厚くお礼申し上げます。

また、高橋理事長、東山副理事長、大会事務局として事前準備から終了までの事務万般をご担当くださいました日本禁煙科学会事務局と、会場設営や受付等当日の業務を担って下さいました禁煙マラソンの皆様方をはじめ、学術総会の開催・運営にご尽力くださいました全ての方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

2023年10月2日

第18回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山

## 【学 会 賞】



第19回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山 学会賞受賞者

佐原 康之

(元和歌山県健康対策課長、前厚生労働省健康局長)

### 受賞理由：

和歌山県健康対策課長として、初めての都道府県単位での学校敷地内禁煙を県教育委員会 に働きかけ、日本の学校禁煙化をリードした。

### 略 歴：

平成元年金沢大学医学部卒。

神奈川県立こども医療センター研修医を経て、平成 3 年厚生 省入省。

入省後、省内各局や、WHO 本部（NCD 等担当）、和歌山県庁に勤務。

令和 3 年 9 月より 厚労省健康局長。

令和 5 年 7 月退官。

## 【日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞（畑中孝之賞）】

### 日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞について：

日本禁煙科学会は、2006年の発足当初から子どもたちをタバコの害から守るための教育の普及につとめてきましたが、2021年より日本の禁煙の一層の推進と今後の活動における協働に資することを目的として、禁煙教育の禁煙教育の領域において多大な功績をあげた個人または団体を顕彰ことと致しました。なお、本賞は副称を「畑中孝之賞」とします。

日本禁煙科学会HP「畑中孝之氏について」 ---下記URLよりご覧下さい。

[https://www.jascs.jp/topix/topix\\_202109/mr\\_hatanaka.html](https://www.jascs.jp/topix/topix_202109/mr_hatanaka.html)

### ◇第18回日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山 禁煙教育推進賞受賞団体

授賞者：奥田 恭久

(和歌山県立和歌山工業高等学校 教諭)

### 受賞理由：

現職の高校教諭として、2005年から高校生向けに「週刊タバコの正体」を毎週火曜日発行し、2023年4月には750号を超えた。2011年からは日本禁煙科学会のホームページにも掲載され、全国の喫煙防止教育の普及と質の向上に貢献している。

### 受賞の報告と御礼：

この度、第18回禁煙科学会学術総会(和歌山)において、禁煙教育推進賞(畑中孝之賞)を賜りました。禁煙活動にかかわる多くの方々の中から賞を頂いたことを大変光栄に感じております。

加えて、賞の副称となっている故畑中孝之氏とは和歌山で、ともに禁煙活動に取り組んで来た事を思うと非常に感慨深く、関係する皆様に感謝いたします。

さて、「週刊タバコの正体」は2005年の創刊以来18年間発行を続ける事ができ、高校生に喫煙防止教育を継続的に行った事は社会全体にタバコに関する正しい知識や認識を広めることに貢献できたのではないかと、僭越ながら感じております。しかしながら、先の学術総会での講演や発表を聴くと、タバコの健康被害をなくす活動は今後も続けていかなければならないと感じました。受賞を励みに今後もそんな活動に少しでも貢献していきたいと考えています。

和歌山県立和歌山工業高等学校 奥田 恭久 (2023年10月)

## 【KKE分科会】

## KKEに学ぶ禁煙支援の最新知識

座長 高橋裕子 京都大学

演者 館野博喜 さいたま市立病院

## 抄録集から（「禁煙科学 vol.17(2023.12)」に掲載）

KKE とは、日本禁煙科学会の公式メーリングリストである「禁煙健康ネット（通称KK）」において、さいたま市立病院禁煙外来館野博喜医師が最近の禁煙科学に関する医学情報を紹介しているシリーズである。

紹介される医学情報の多くは禁煙に関して非常に重要な英語論文であり、館野医師による日本語要約のみならず、コメントもあわせ記載され、内容をサマライズして論文の特色が述べられ、日本における情報が追記されることもある。またその他の禁煙支援に関する論文のうち重要なものは、内容を要約して短く紹介されている。

今年のKKE 分科会も、昨年、一昨年に引き続き、過去1年間にKKE に紹介された報告の中から、特に日頃の禁煙支援に役立つと思われる報告を選び、館野医師による解説を加える。KKE の紹介者より直接に説明を受ける貴重な機会である。

## 分科会報告

今年のKKE分科会も、昨年、一昨年に引き続き、過去1年間にKKEに紹介された報告の中から、特に日頃の禁煙支援に役立つと思われる報告を選び、館野医師によるわかりやすい解説を加えていただいた。

- ・ AI会話型プログラムによる禁煙介入に関するメタ解析
- ・ シチシンの禁煙効果：バレニクリンと作用も副反応も類似し、バレニクリンより安価な禁煙補助薬として海外で使用されている。その有効性に関しては数多くの論文があるが、今回の無作為化比較試験では有用とのことであった。ただし日本国内では認可されていない。
- ・ ニコチンパッチとガムの併用については、以前から禁煙外来用には認められ、OTC同士では認められないなど行政上の矛盾があるが、使用時にはニコチン過量に注意が必要であり、ニコチンガムを一度に15個使用し急性ニコチン中毒で痙攣、意識障害、人工呼吸器治療を要した症例が紹介された。
- ・ 受動喫煙による小児の中等度から強度近視の増加の報告
- ・ 禁煙後の体重増加を防止する薬剤として、海外文献が紹介され、デュラグルチド（トルリシティ）は禁煙後体重増加とHbA1cの増悪を抑制することが報告された。
- ・ 呼気中CO測定機器について、市販されている機器の中には牛乳摂取後に異常値を示しやすいものがあることが報告された。

以下に今回の分科会で紹介された報告の一覧を掲載する。

## [基礎研究・遺伝子研究]

KKE318b：腸内細菌が腸内ニコチンを分解し喫煙関連NASHの進展を防止している（ネズミの実験）

KKE327h：各種薬物依存症と関連する遺伝子座について110万人の多変量ゲノムワイド関連メタ解析：ドパミン調節が共通でタバコは32か所

KKE328b：CHRN2遺伝子の稀な機能低下変異は重喫煙を抑制する

KKE325a1：リラグルチドは腹側被蓋野の活性化やニコチンによる側坐核のドパミン放出を抑制し肥満を解消する（ネズミの実験）

KKE325am：リラグルチドはニコチン自己摂取と離脱時の過食を抑制する（ネズミの実験）

[喫煙の害・タバコ問題]

KKE321：減煙ではなく禁煙により心不全のリスクが減る

KKE328cn：2型糖尿病患者の心筋梗塞と脳梗塞のリスクは禁煙で減り減煙では減らない：韓国35万人5年の追跡

KKE321a：肺癌の発症と死亡は喫煙開始が早いほど、また胎児期の曝露でも高まる

KKE327aa：タバコ煙曝露の時期が早いほど遺伝素因に関わらず成人での糖尿病発症リスクが高い：40万人13年コホート

KKE322ai：世界におけるタバコ会社の市場シェアの現状

KKE328cm：血清コチニンと各種疾患リスクとの包括的関連解析：米国5万人18年調査

[臨床研究]

KKE320k：AIを用いた会話型プログラムによる禁煙介入に関するメタ解析

KKE321c：匂いの変化の有害事象報告が最も多かった薬剤はバレニクリン：FDA

KKE323e：デュラグルチドはバレニクリンへの禁煙相加効果はないが禁煙後の体重とHbA1cを抑制した：スイスのRCT

KKE328f：シチシンの6週間投与も12週間投与も禁煙成功を高める：米国800人のRCT

KKE318at：ニコチンガムによる急性ニコチン中毒の一例

[新型コロナ関連]

KKE320c：総喫煙量とCOPDの存在がCovid-19の侵襲的人工呼吸器使用と関連する

KKE320d：喫煙者のコロナ抗体保有率が低いのは抗体産生力が低いのではなく罹患率が低いのである：ドイツの縦断研究

KKE323ac：コロナ後遺症のリスク因子の一つが喫煙：メタ解析

KKE319ah：喫煙者ではコロナ後遺症からの回復が遅い：日本のクリニック300人の解析

[受動喫煙]

KKE326：受動喫煙が幼い頃から多いほど近視が進みやすい：香港6?8歳児1万人の横断調査

KKE320b：過去30年間における受動喫煙による世界の疾病負荷の変遷：GBD研究の系統的解析

KKE318ab：受動喫煙は非喫煙者の心房細動発症を1.6倍増やす：米国14年コホート

KKE328a：喫煙者の家のカーペットからの三次喫煙曝露はオゾン処理で防げない：1日のニコチン曝露量は喫煙1本分に相当する

KKE328l：日本では避けたくても避けられない屋内受動喫煙が多く未成年者で顕著である：ネット調査

[電子・加熱式タバコ関連]

KKE319bb：米国未成年者ではこの8年間に電子タバコ開始年齢が下がり依存が高まり使用回数が増えている

KKE319bh：加熱式タバコのフレーバーカプセルを潰すと喫煙時の揮発性有機化合物濃度は8倍になる

KKE320ap：2022年日本の紙巻き・加熱式タバコ使用率：使用者の2割は非使用とも回答した（日本のネット調査）

KKE321r：2015年から2018年にかけて日本の加熱式タバコ使用は10倍増えた：JASTIS研究

KKE323：加熱式タバコの使用は、紙巻タバコの禁煙率を高めず、再喫煙率を高める：日本の縦断研究

KKE322b：紙巻・電子・加熱式タバコで摂取ニコチン量は変わらず消費タバコ量は多種使用者のほうが多い：香港の横断調査

[日本からの報告]

KKE320f：簡易呼気CO測定器では牛乳摂取後には呼気水素増加に伴い5時間程でCO高値を示す

KKE318e：小児期の受動喫煙と壮年期の冠動脈疾患死亡には用量依存的関連がある：日本人7万人19年コホート

KKE318f：加熱式タバコのみ使用者でもHDL-Cの低下が見られる：日本人労働者5万人調査

KKE328m：日本の労働者の禁煙意欲を高めたのは肺年齢や呼気CO値ではなく呼気悪臭検査だった

KKE320ai：周産期自殺未遂のリスク因子のひとつが喫煙

KKE325c：IQOSを誤飲し嘔吐にて金属片を吐出した10か月の少女の一例

KKE328n：IQOSタバコTEREAを誤嚥し内視鏡で加熱用金属片を摘出された7か月女児の一例